



# ぎかいだより

懸かけはし橋



錦ヶ丘保育園児によるはしご乗り披露（三沢地区消防団連合観閲式）

- ◆ 4年間の議会活動スタート（第1回臨時会） . . . . . 2ページ
- ◆ 議員の紹介 . . . . . 3ページ
- ◆ 明神山への避難路整備決定（第2回定例会） . . . . . 5ページ
- ◆ 町政を問う（一般質問：4人） . . . . . 7ページ



# 4年間の議会活動スタート

## 新体制で町行政運営をチェック

議長に馬場正治

副議長に沼端 務

平成27年4月26日、町議会議員一般選挙（有権者数1万9819人、投票率65.9%）が実施され、新人3人を含む16人の議員が当選しました。

5月8日に招集された第1回臨時会において、議長選挙が行われ、議長に馬場正治議員が当選、続く副議長選挙では、馬場議長が沼端務議員を指名し、全議員の賛成により承認されました。

また、常任委員会・議会運営委員会委員の選任、議会広報編集調査特別委員会の設置と委員の選任、一部事務組合議会への派遣議員の選出、農業委員会委員の推薦等も行われ、町議会の組織構成が決定しました。

### 【議長選挙】

投票総数15票

（有効14票・無効1票）

馬場正治 14票

## 強い決意で「開かれた議会づくり」に取り組み

— 議長就任のごあいさつ —

おいらせ町議会議長就任にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

先の町議会議員改選後の臨時会において、議員各位のご推挙を賜り議長に就任いたしましたことは、4年間副議長として議長の補佐を務めてきたとはいえ、その責任の重大さに、あらためて身の引き締まる思いと同時に、議員の皆様はもとより町民の皆様のご指導、ご助言をいただきながら、より開かれた議会づくりのため全力で取り組まなければならぬと強く決意しております。

今年、おいらせ町誕生から10年目の節目であり、平成21年度にスタートした第一次おいらせ町総合計画（10年）の7年目に入っていることから、町の将来像として掲げている「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち—私たちのまち

私たちの手で—満足度70%、納得度100%のまちづくり」の実現のためには、基本方針の一つである「住民と議会・行政がともに考え、行動するまち」を常に念頭に置き、具体的な行動を開始することが求められていると感じております。

これからは、議会の活動に

ついて「ぎかいだより懸橋」でお伝えするだけでなく、議会報告会や意見交換会などを通じ、課題や目標を町民のみならずと共有しながら、町発展のため全力を傾注して参る所存でございますので、皆様のご理解とご指導、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



おいらせ町議会議長

馬場正治

住民全体の奉仕者として

# 私たちがみなさんの声を町に届けます

議長、副議長、当選回数の順に、氏名・年齢（平成27年5月1日現在）・住所を掲載しました。  
任期は平成31年4月30日までです。



佐々木 光雄  
(72歳)

一川目1丁目73-334  
当選8回



松林 義光  
(70歳)

緑ヶ丘2丁目50-1980  
当選9回



副議長 沼端 務  
(50歳)

東後谷地71  
当選5回



議長 馬場 正治  
(63歳)

境田77-12  
当選4回



吉村 敏文  
(62歳)

二川目3丁目29-1  
当選5回



澤頭 好孝  
(62歳)

阿光坊8  
当選5回



西館 芳信  
(64歳)

一川目2丁目65-369  
当選6回



西館 秀雄  
(55歳)

深沢1丁目73-163  
当選7回



田中 正一  
(66歳)

中谷地44-2  
当選2回



平野 敏彦  
(68歳)

二川目2丁目73-135  
当選2回



榎山 忠  
(71歳)

中下田145-108  
当選2回



川口 弘治  
(56歳)

下明堂79-50  
当選4回



澤上 勝  
(59歳)

上久保60-65  
当選1回



澤上 訓  
(60歳)

新助川原8-3  
当選1回



木村 忠一  
(63歳)

西前川原11  
当選1回



高坂 隆雄  
(55歳)

浜道111-1  
当選2回

# 新しい議会の構成

## ●総務文教常任委員会

委員長 吉村 敏文  
副委員長 佐々木 光雄  
委員 馬場 正治  
委員 西館 芳信  
委員 川口 弘治  
委員 平野 敏彦  
委員 高坂 隆雄  
委員 澤上 訓

委員 木村 忠一  
委員 澤上 訓  
委員 澤上 勝

## ●産業民生常任委員会

委員長 榎 中山 忠  
副委員長 田 中正 一  
委員 沼端 義務  
委員 松林 光  
委員 西館 秀雄  
委員 澤頭 好孝  
委員 木村 忠一  
委員 澤上 勝

議員 木村 忠一  
議員 澤上 訓

## ●議会運営委員会

委員長 澤 頭 好 孝  
委員 澤 上 勝  
委員 木 村 忠 一  
委員 澤 上 訓

議員 西 館 芳 信  
議員 田 中 正 一

監査委員に川口弘治議員  
― 選任に同意

## ●議会広報編集調査特別委員会

委員長 高 野 敏彦  
副委員長 榎 山 隆 忠  
委員 西 舘 秀 雄  
委員 佐々木 光 雄  
委員 松林 義 光  
委員 平野 敏 彦  
委員 澤 頭 好 孝



## その他の報告案件

### ◆一般会計補正予算（8号）

既定予算の総額から、歳入歳出それぞれ2億2150万円を減額、予算総額105億9977万円として、平成27年3月31日付けで専決処分したことについて報告があり、議会は承認しました。

その内容は、歳出全般にわたり、事業費の確定及び精査により減額し、歳入は、地方交付税額の確定に伴う増額、町債の借入れや基金の取り崩しを減額するものです。

### ◆特別会計補正予算

6つの特別会計補正予算を平成27年3月31日付けで専決処分したことについて報告があり、議会は承認しました。

◆そのほか、「町一般職の職員給与に関する条例の一部改正」、「町税条例等の一部改正」、「町国民健康保険税条例の一部改正」等6件の条例の一部改正について専決処分の承認を求める報告は、すべて承認しました。

## 26年度3月補正予算の内容（27年3月31日専決処分）

会計別	補正額	補正後の額	歳出の主なもの
一般会計	▲2億2150万円	105億9977万円	
特別会計	▲2724万円	63億2927万円	
国民健康保険特別会計	▲1066万円	27億9367万円	保険財政共同安定化事業拠出金 ▲2421万円
奨学資金貸付事業特別会計	23万円	1682万円	奨学基金積立金 23万円
公共下水道事業特別会計	▲730万円	10億8013万円	下水道整備工事費 ▲271万円
農業集落排水事業特別会計	▲81万円	1億2333万円	施設更新工事費 ▲18万円
介護保険特別会計	▲812万円	21億1988万円	居宅介護サービス等給付費 ▲570万円
公共用地取得事業特別会計	—	3906万円	
後期高齢者医療特別会計	▲57万円	1億5639万円	後期高齢者医療広域連合納付金 ▲39万円
(公営企業会計) 病院事業会計	—	11億1549万円	
収益的収入及び支出	—	10億483万円	
資本的収入及び支出	—	1億1066万円	
総計	▲2億4874万円	180億4453万円	

\*数値は、会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。▲は減額です。

# 明神山への避難路の整備が決定

町道明神下9号線舗装整備工事に2,225万円計上



定例会の会期を報告する  
澤頭好孝 議会運営委員長

平成27年第2回定例会は、6月4日から10日までの7日間の会期で開かれ、阿光坊古墳群ガイドンス施設建築工事請負契約の締結や平成27年度一般会計補正予算など、報告2件、議案5件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり同意・可決しました。

また陳情1件を採択し、これを受け、委員会発議により意見書を提出することを可決しました。

一般質問には、4人の議員が登壇し、全員が一問一答方式により町当局の考えを質しました。

◆一般会計補正予算(第1号)

平成27年度一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ9333万円を増額補正し、予算総額を106億4833万円としました。

歳出の主な内容は、個人番号カード発行事務費負担金870万円、木内々コミュニティセンター建設助成事業費2700万円、明神下9号線舗装整備工事費2225万円などの増額です。

歳入は、国庫支出金2013万円や諸収入2192万円を充て、不足分については、町の貯金である財政調整基金などから4930万円を取り崩すことになりました。



避難路として改良される  
明神下9号線

## 27年度6月補正予算の内容

会 計 別	補正額	補正後の額	歳出の主なもの
一 般 会 計	9333万円	106億4833万円	コミュニティセンター助成事業費補助金 2700万円 松原地区避難階段等設置工事費 559万円 東日本大震災復興交付金基金積立金 1252万円
特 別 会 計	—	68億 622万円	
国民健康保険特別会計	—	31億1939万円	
奨学資金貸付事業特別会計	—	1973万円	
公共下水道事業特別会計	—	11億3266万円	
農業集落排水事業特別会計	—	1億3240万円	
介護保険特別会計	—	22億2126万円	
公共用地取得事業特別会計	—	2218万円	
後期高齢者医療特別会計	—	1億5859万円	
(公営企業会計) 病院事業会計	—	10億7266万円	
収益的収入及び支出	—	9億7291万円	
資本的収入及び支出	—	9975万円	
総 計	9333万円	185億2721万円	

※数値は、会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。▲は減額です。

## 阿光坊古墳群ガイダンス施設、建設へ

— (議案第51号) —

町では、史跡指定された阿光坊古墳群について学び、体験できるガイダンス施設を建築する工事を契約するため議会の議決を求めました。

議会は審議の結果、全議員が賛成し、可決しました。  
契約金額

2億1978万円

契約の相手方

株式会社 柏崎組



ガイダンス施設内部予想図

## 下田第3分団消防ポンプ自動車、更新へ

— (議案第52号) —

町では、下田第3分団(三本木)で使用している消防ポンプ自動車(平成7年9月購入)について、新たに購入する契約を締結するため議会の議決を求めました。

議会は審議の結果、全議員が賛成し、可決しました。  
契約金額

2268万円

契約の相手方

株式会社 八戸鉄工所



## 政府は米の需給と価格の安定に責任を

— 陳情 —

産業民生常任委員会において審査されていた「米価暴落対策の意見書を求める陳情」について、採択すべきであるという委員会の報告を受け、議会は審議の結果、全議員が賛成し、採択しました。

また、採択に伴い、委員会提案により、農林水産大臣に対し、農家の経営安定対策をとることや生産調整廃止方針の撤回、米国産米の輸入特別枠合意撤回等、米価暴落対策を求める意見書を提出することを可決しました。

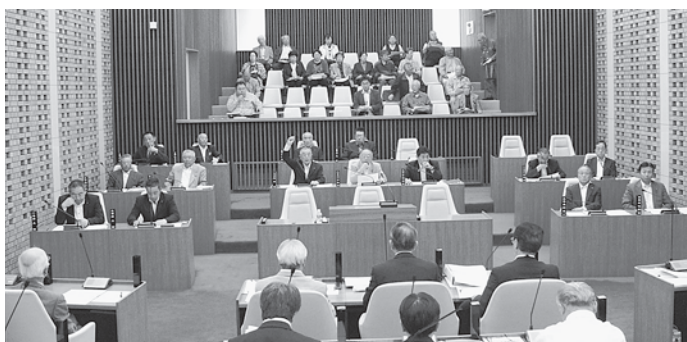
## 議員派遣

### ◆市町村議会議員特別講座I

千葉県千葉市の市町村職員中央研修所において、7月6日から10日までの5日間にわたり行われる研修に、議員4人(西館芳信・平野敏彦・木村忠一・澤上訓)を派遣することにしました。

### ◆県下町村議会議員研修会

7月9日に青森市で開催される研修会(講師 青森県知事 三村申吾氏)に議員12人を派遣することにしました。



第2回定例会のようす

## 第2回議員全員協議会

6月4日、本会議終了後、議員全員協議会が開催され、2つの案件について協議しました。

### ◆新町建設計画の一部変更(案)について

合併特例債の発行期限が10年間延長されたことに伴い、平成18年度から10年間とした計画の期間について、平成37年度までの20年間に延長する

もの。

### ◆おいらせコールセンターへの財産の貸与について

平成27年6月1日から独自に事業展開を始めたおいらせコールセンターへの町有施設(勤労者研修センター)の一部の貸与について、事業継続について不安要素が多いことから、当面の間、貸与を見合わせるもの。

# 町政を問う

～ ここが聞きたい 一般質問 ～

ページ	質問事項	質問議員
8	1. 選挙の投票率について 2. 堀切川地区の津波対策について	樽山 忠
9	1. 新酒「穂の泉」の支援策について 2. 職員採用について 3. おいらせ病院の未収金の処理について	平野 敏彦
10	1. 定住促進条例について 2. 「長寿青森1を目指す」について 3. 小中学校の駐車場確保について 4. 雇用の場確保について	吉村 敏文
11	1. 町長の政治姿勢について 2. 教育行政について 3. 下田公園・いちよう公園有効活用について	西館 秀雄

※「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。年4回の定例会で行われます。

議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策を変更、是正させ、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。「ぎかいだより懸橋」では、スペースの都合上、質問と答弁を要約しておりますので、本会議場での傍聴をお待ちしております。

※会議録は、議会事務局(本庁舎3階)や町議会ホームページ(<http://www.town.oirase.aomori.jp/site/gikai/>)で閲覧できます。

# 下がり続ける選挙の投票率、今後の対策は

## 選挙管理委員長

### 『18歳選挙権』を踏まえ、一層の啓発活動に取り組む



榎山 忠 議員

**榎山** おいらせ町における県議会・町議会議員選挙の平均投票率（直近3回）及び最高投票率は？

**選挙管理委員長** 次のとおりです。

		おいらせ町	旧百石町	旧下田町
県議選	平均	58.57%	74.41%	70.04%
	最高 (年月日)	59.75% (H19.4.8)	85.84% (S26.4.30)	86.66% (S33.4.30)
町議選	平均	69.16%	83.82%	77.52%
	最高 (年月日)	74.62% (H19.4.22)	94.26% (S58.4.24)	92.92% (S50.4.27)

**榎山** 期日前投票の投票率の推移と期日前投票所に必要な経費は。

**選挙管理委員長** 県議会議員選挙では平成19年は5.6%、平成27年には12.8%。町議会議員選挙では、平成19年は7.4%から平成27年には12.8%とどちらも年々上昇している。必要な経費は、選挙により約34万円から約135万円となる。また、場所によって、システム導入のため、さ

らに経費がかさむこととなる。

**榎山** 期日前投票所増設の考えはないか。

**選挙管理委員会事務局長** 年内までに検討する。

**榎山** 若い有権者に対する投票率向上対策をどう考えるか。

**選挙管理委員長** 平成25年の成人式から、会場での模擬投票の体験、パンフレットにその年に行われる選挙を掲載している。

また、昨年度は木ノ下小から選挙制度の出前講座の開催要望を受け、6年生を対象に選挙のしくみや大切さを説明し、実際に使用している記載台、投票箱を使って模擬投票を行った。

今後町教育委員会と協議し、出前講座等の実施を呼びかけ、選挙に関する意識づけを継続して行いたい。

**榎山** 施設入居の要介護者、居宅の要介護者、他市町村への長期出張者に対する対策は。

**選挙管理委員長** 施設入居の

要介護者は、県選挙管理委員会が指定した病院・介護施設等（県内312施設、町内5施設）では、不在者投票ができる。

居宅の要介護者は、身体障害者手帳を持ち、一定の要件に該当する方、介護保険要介護5の方は自宅から郵便による不在者投票ができる。

仕事や旅行で長期不在となる方は、滞在先の市区町村選挙管理委員会にて不在者投票ができる。

いずれも公職選挙法に定められたルールに従い、投票手続きを行うことになる。

**榎山** 選挙管理委員会の今後の対策は。

**選挙管理委員長** 来年夏の参議院議員選挙から選挙権年齢が18歳以上になることを踏まえ、より一層の啓発活動に取り組む。

### 堀切川地区の津波対策は

**榎山** 堀切川地区の津波からの避難場所、避難経路、訓練実施状況は。

**町長** 大津波警報発表時には、堀切川地区の緊急避難場所である百石小学校に県道百石下田線を利用して避難する。

堀切川町内会では、平成26年1月に自主防災組織を結成し、防災訓練を実施、今年度も訓練を実施する予定と聞いている。

**榎山** 説明会で高台への避難誘導路整備を約束したと聞いたが、どこに、いつまでに整備するのか。

**町長** 県道八戸百石線から津波避難タワーに至る区間の町道明神下9号線を改良し、年内の完成を予定している。



県道から見た明神下9号線



## 新酒「穂の泉」支援策は

**平野** おいらせ農酒会と桃川株式会社の協力により、おいらせ町で収穫された「まっしぐら」を使用した真正銘の地酒「穂の泉」が誕生し、4月17日に完成披露会を開催。今後のPRは。

**町長** 地産地消の観点から地酒にふさわしい商品なので、町のブランドとして、町主催事業はもちろんだこと、各種団体の事業においても取り上げてもらえるよう情報発信をしていきたい。

**平野** おいらせ農酒会への支援は考えているのか。

**町長** 今回は、仕込みタンク1つ分として「まっしぐら」の玄米3トンを使用したと聞いている。

町民から愛飲されることが継続につながり、継続による安定供給がブランド化や町外への情報発信を可能にする。ことから、町としてもおいらせ農酒会の今後の継続した取り組みに注目しており、おいらせ農酒会の意見を聞きながら、支援について考えていきたい。

**平野** 町内消費の取り組みは。

また「広報おいらせ6月号」を見ると、町内酒販店11店で取り扱っているが、ショッピングセンターでは取り扱っていない。

**町長** 桃川株式会社では、町内飲食店に「穂の泉」の営業をしているようであり、町としても町主催イベントは言うまでもなく、町後援のイベント

ト等でも利用をお願いして町内消費に取り組みたい。今のところ、タンク1つだけの限られた本数なので、タンク2つ、3つとなれば、各方面の店舗で販売できるようになるだろう。

## 職員採用条件を見直せ

**平野** 平成27年度の職員採用人数は。

**町長** 現在、合併後に進めてきた取り組みにより、県内市町村と比較しても少ない職員数の上位に位置しているが、昨今の行政需要の高まりや、メンタルヘルス不調等に悩む職員の存在もあり、職員削減方針を見直し、原則として退職者分の補充をしていく。

現段階では、退職予定者数を確定できないので、若干名としている。

**平野** 「昭和55年4月2日か

ら平成6年4月1日までに生まれ、大学以上を卒業」としている受験資格の理由は。

**町長** 満35歳を上限とし新規卒業見込み者を下限としているのは、Uターン就職や社会人経験者など中途採用者も見据えた年齢制限を設定し、必要とする人材を幅広く採用できるようにしているため。

**平野** 年齢制限のない採用条件とする考えはないか。  
スポーツ選手など特殊技能を持った方々を採用できるようにしてほしい。

**町長** 平野議員から平成23年第3回定例会でも同様の質問を受け検討したが、既に比較的幅広い年齢層が受験可能になっていること、年齢構成が偏る恐れがあること、2次試験の面接は社会経験のない新卒者が不利になることが多いことから時期尚早として、現在に至っている。

## 病院未収金の処理は

**平野** 平成26年度病院事業会計決算の見込は。

**町長** 経常利益では約3161万円の赤字、当年度純利益では、約5073万円の赤字を見込んでいる。その原因は入院収益の減、給与改定による給与費の増、医療機器保守管理委託料の増、消費税の増税による。

**平野** 平成26年度末の病院未収金の額は。

**町長** 25年度から繰越された未収金は約629万円であったが、徴収した結果、26年度末は約456万円となっている。

**平野** 町外からの患者の未収金処理は、裁判所に委託して手続することを提案する。



平野 敏彦 議員

## 地方創生につながる取り組み「穂の泉」、今後のPRは

## 町長「地元にとだけこだわった町のブランド。町を挙げてPR。」





吉村 敏文 議員

# 定住促進、企業誘致のために土地規制の見直しを

## 町長「見直しは必要。3年以内に都市計画マスタープランを策定。」

### 定住促進条例、その成果は

**吉村** 昨年4月から施行された定住促進条例の成果はどのように推移しているのか。

**町長** 昨年度は下田小学校区1件、甲洋小学校区3件の計4件。

今年5月末現在は、下田小学校区1件、甲洋小学校区2件の3件の申請がある。ハウスメーカーの問い合わせもあり、昨年度以上の件数が見込まれる。

**吉村** この条例を知らないという声を聞くが、周知方法は。

**町長** 条例施行時に町広報、ホームページ、地方紙、不動産等情報誌等により周知している。

しかし、十分でないところもある。公共・集会施設、商業施設へのポスター掲示も考えている。

### 「長寿青森県」を目指す取り組み方法は

**吉村** どのような方法で取り組むのか。

**町長** 4月に健康長寿推進室の設置や保健師を増員して体制強化を図った。

また「いきいき健活ポイント事業」も計画しており、健康づくりに取り組むきっかけをつくり、意識を高めていきたいと考えている。

今後は、社会参加への促進をしていくことにより、「いつまでも健康でいきいきとした毎日を送る」ことができる町を目指す。

### 小中学校の行事 駐車場不足への対応は

**吉村** 運動会等の大きな行事での駐車場の確保について、町のとらえ方は。

**町長** 現状、駐車場の確保に苦慮しており、周辺施設の駐車場や空き地借用など、地域の協力を仰いで、交通の支障にならないよう努めている。周辺用地や校地内の状況を把握し、駐車場の確保に努めたい。

**吉村** 各学校の施設環境再確認が必要ではないか。

**町長** 平成25年度まで屋外教育環境の整備を実施し、4小学校、2中学校で駐車スペースの確保を行ってきた。今後も学校施設環境を調査し、学校からの要望も踏まえ屋外教育環境を整備したい。

### 雇用の場、確保のために

**吉村** 企業誘致の取り組みはどうなっている。

**町長** 現在誘致企業は29社だが、奨励金の交付や税制上の特別措置、工場立地に係る緑地面積率等の規制緩和措置など各種施策を展開し、パンフレット・チラシ作成で周知を図っている。

また、今年度から担当課に職員1名を増員し対応した。百石小学校北側の「おいらせショッピングセンター」の出店のほか、当町での事業展開の事前相談も受けている。

**吉村** もう少し魅力ある、アークセンターがあるような企業誘致に取り組んでもらいたいと思っている。

企業誘致や本庁舎の建築、病院のあり方などまちづくりを考えたときに、土地規制が



百石小学校前に建設中の「おいらせショッピングセンター」

障害になると考えているが、その見直しはどのようになる。

**町長** 少子高齢化、定住促進など将来を見据えた「まちづくり」を考えるうえで土地利用の見直しは必要である。

そのため、昨年度まで行ってきた調査結果を踏まえ、今年度は「都市計画マスタープラン」の素案を作成し、議会や町民等関係者の意向を伺いながら確定版を策定したい。

# 多すぎる選挙公約、取り組み状況は

## 町長「政策推進チームを設置し、 着実に取り組んでいる。」



西館 秀雄 議員

公約実現、努力を願う

**西館** 町長の政治姿勢について、地方創生、地域再生に対する町長の思いは。

**町長** 地方創生は、地域の実情を把握、分析し、それに対応することで地域に即した課題解決が可能となる大きなチャンスであると捉えている。

地域の再生、発展に向けて、各種施策を有機的に結びつけながら、地方創生に取り組んでいきたい。

**西館** 先の町長選挙は選挙公約、手形乱発の選挙戦だったと私は思うが、実現の取り組みを1年間どのようにやってきたのか。

**町長** 企画財政課に政策推進チームを設置し、各課で取り組むべき項目とプロジェクトチームで取り組むべき項目に分けて推進している。

各課取り組み項目のうち、完了1件、実施中25件、検討中17件、プロジェクトチーム取り組み項目のうち、実施中3件、検討中8件となっている。

引き続き着実に取り組んでいきたい。

**西館** 町長は、選挙中の公約として、前町長が実現できなかった防災ドームを私がやる、と断言した。

今、どこまで進んで、用地はどこに、完成時期など書写真はできているのか。

**町長** 防災機能を兼ね備えた多目的ドームとして、公共施設等総合管理計画を策定する中で多目的ドーム事業の検討を進めていく。

そして、教育委員会において素案作りに着手し、スポーツ関係団体の意見を参考にしながら、職員で構成する（仮称）多目的ドーム整備準備委員会ですべてを検討、計画案をまとめた。

財源的な事情もあり、町民の意見を集約し、時間をかけてしっかりとしたものを作っていくかなければならないので、任期中のオープンは厳しいと思っています。

小中学校施設を問う

**西館** 百石中学校は広い駐車場を持つが、送迎による車の乗り入れはできない。

小中学校における父兄の送迎状況は。

**教育長** 雨天時や降雪時は車で送迎しているケースが多いと聞いている。

学校によっては、児童・生徒の安全確保を最優先とし、また国道の渋滞回避のため、校長の判断により校地内への車の乗り入れを認めている。

認めている学校でも、徐行の徹底、乗降場所の指定等文書で周知し、児童・生徒の安全確保に努めている。

**西館** 春と秋は、スポーツレベル向上、ケガ防止のためにも、もっと照明が必要。

小中学校グラウンド照明の増設・新設の考えは。

**教育長** 平成21年度から23年度にかけ、5小学校・2中学校に照明設備を整備したので、今のところ考えていない。

下田公園・いちよう公園  
運動施設の活用のために

**西館** 下田公園テニスコートのナイター照明新設、下田公園野球場の国際ルールに合わせたスコアボード改修工事予定の有無は。

**町長** 現在、照明設備の新設は検討していない。また、野球場スコアボード改修工事についても計画はないが、周辺市町村の動向を見て検討したい。

**西館** 平日の利用状況と使用料の見直しは。利用者を増やすためにこの料金に工夫を。

**町長** 平成26年度において、下田公園施設は99件、2097人、いちよう公園施設は528件、7911人。

使用料は、平成22年に全施設の見直しを行っており、地元住民を優先させるために、町外利用者に割増料を設定している。見直しは予定していないが、周辺市町村の動向を参考に検討したい。

## 平成27年度町村議会議長・副議長研修会参加報告

議長 馬場 正治

5月26日、27日の2日間、東京で全国町村議会議長会が主催する研修会に、副議長と2人で参加しました。

全国から約1600人の正副議長、事務局長が東京中野サンプラザホールに集まり、今後の地方議会のあり方について勉強しました。

初日、帝京大学経済学部地域経済学科教授（総務省自治大学校客員教授）の内貴滋氏による基調講演「地方自治の

母国に負けない我が国の町村議会」が行われました。その後、同教授がコーディネーターとなり、平成26年度町村議会特別表彰を受賞した北海

道福島町、山形県川西町、山梨県昭和町、鳥取県日南町、沖縄県南風原町の各町議会議長がパネリストになって行われたシンポジウム「これから

の町村議会を考える」は、今後の議会運営や議会活性化の参考となる内容でした。2日目は関西大学政策創造

## 編集後記

任期満了に伴う改選により、議会広報編集調査特別委員会のメンバーが変わり、新人議員3人と2期目の議員3人により構成されることになりました。

「ぎかいだより懸橋」の発行は38回を数え、町民の皆様から議会の開催の内容・議員の活動など、疑問や意見が寄せられるようになったことは、議会だよりが町民に身近に感じられているのではと実感しています。

地域住民の代表機関である議会は、地域の多様な民意とニーズを的確に把握し、行政に提言をし、行政の監視機能を充実強化して行くことが大事です。そのためにも、議員の活動はもちろんではありませんが、委員会の役割は重要であると

考えています。結びに、議会と町民のコミュニケーションのツールとして生きる「懸け橋」を作っていきたいと思っております。たくさんのご意見、ご提案を期待します。

議会広報編集調査特別委員長

平野 敏彦 記

## 第3回定例会のお知らせ

平成27年9月3日（木）午前10時から開会予定  
第3回定例会では、平成26年度会計の決算について、審査します。

おいらせ町議会では、みなさんの傍聴をお待ちしています。

傍聴をご希望の方は、議会開催日に、本庁舎3階の議会事務局までお越しください。

●問い合わせ 議会事務局（本庁舎3階）

●電話 0178（56）2112

## 表紙の写真を お寄せください

あなたの作品を「ぎかいだより懸橋」に掲載しませんか。表紙の写真を募集中です。おいらせ町の「自然」「伝統行事」「イベント」など、おいらせ町の魅力あふれる写真をお待ちしています。

詳細は、議会ホームページの確認または、議会事務局までご連絡ください。

送付先：おいらせ町議会事務局「議会広報写真」係

TEL：0178-56-2111（代表）

FAX：0178-56-4364

Mail：gikai@town.oirase.aomori.jp

HP：http://www.town.oirase.aomori.jp/site/gikai/



（上段左から）平野委員長、高坂副委員長、樫山委員、（下段左から）木村委員、澤上訓委員、澤上勝委員